

Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォームフォーム電話機でのソフトキーの割り当て

目的

プログラマブルソフトキー(PSK)機能を使用すると、Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォームフォーム電話機に表示されるソフトキーをカスタマイズできます。デバイスの状態に応じて、追加、移動、削除が可能です。この機能は、電話機のWebベースユーティリティで有効または無効にできます。

この記事では、Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォームフォーム電話機でソフトキーを割り当てる方法について説明します。

該当するデバイス | ファームウェアのバージョン

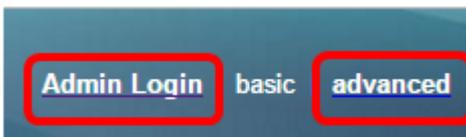
- IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォームフォーム電話機 | 11.0 (最新の[ダウンロード](#))

ソフトキーの割り当て

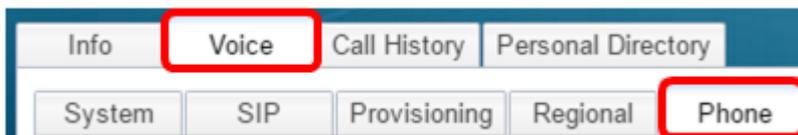
プログラム可能ソフトキーの有効化

ステップ1: IP PhoneのWebベースのユーティリティにログインします。

ステップ2: [Admin Login] > [Advanced]をクリックします。



ステップ3: [Voice] > [Phone]をクリックします。



ステップ4: [Programmable Softkeys (プログラム可能なソフトキー)]領域までスクロールします。

ステップ5: [Programmable Softkey Enable] ドロップダウンメニューから [Yes] を選択します。

Info	Voice	Call History	Personal Directory
System	SIP	Provisioning	Regional
Phone			
Programmable Softkeys			
Programmable Softkey Enable:	No		
Idle Key List:	Yes in 1;a		
Dialing Input Key List:	No delchar		

ステップ6：電話機能を設定するプログラム可能なソフトキー番号フィールドを選択します。

注：この例では、PSK1が編集されます。

On Hook Dial Key List:	cancel 1;call 2;delchar 3;
PSK 1:	fnc=sd;ext=6006@\$PROXY;nme=6006
PSK 2:	

ステップ7:[PSK1]フィールドに、次の形式でプログラマブルソフトキーの文字列を入力します。

fnc=sd;ext=extensionname/starcode@\$PROXY;nme=name

注：この例では、スピードダイヤルの形式を使用します。

場所：

- fnc=キーの機能
- extensionname=extensionがダイヤルされているか、実行するスターコードアクション
- name=設定されているスピードダイヤルの名前

注：この例では、fnc=sd;ext=6006@\$PROXY;nme=6006が入力された値です。

On Hook Dial Key List:	cancel 1;call 2;delchar 3;
PSK 1:	fnc=sd;ext=6006@\$PROXY;nme=6006
PSK 2:	

ステップ8:[Idle Key List]フィールドを編集して、新しいPSKリストに対応させます。

注：この例では、psk1;psk2;psk3;psk4;psk5;psk6が入力された値です。

Programmable Softkey Enable:	Yes
Idle Key List:	psk1;psk2;psk3;psk4;psk5;psk6

ステップ9:[Submit All Changes]をクリックします。

Undo All Changes	Submit All Changes
------------------	--------------------

これで、Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォーム電話機のソフトキーが正常に割り当てられたはずですが。

この記事に関連するビデオを表示...

[シスコのその他のテクニカルトークを表示するには、ここをクリックしてください](#)